

00_ある日の由美と恵の会話

【 恵 】 由美、最近彼氏とはどうなの？

【由美】 ん？ まあ普通だ。普通。

【 恵 】 ふう〜ん。

【由美】 私のことより、恵も彼氏ができたって、この前話してなかった？

【 恵 】 うん♪できたよ〜。

【 恵 】 めっちゃカッコいいの。由美よりも20センチは身長高いし、体もね、鍛えられてるの。

【 恵 】 だけどね……疲れるんだよね〜。

【由美】 疲れる？ ジムにでも一緒にいっているのか？

【 恵 】 それはない、ない、ない。

【 恵 】 ほら。アレ。…セックス。

【由美】 ああ……。

【 恵 】 聞いてくれる？ 彼と付き合い出したのって、1週間前からなんだけど〜、今日も朝までだったから週6だね。

【由美】 えっ！？それって、大丈夫？

【 恵 】 まあ、付き合いだてだからってのもあると思うけど…、正直めっちゃきつい。

【 恵 】 彼ってば絶倫で、体力もあるから、やりだしたら止まらないんだよね。

【由美】 一晩中ずっとってこと？

【 恵 】 そうそう。夜ご飯一緒に食べて、彼の家とかラブホに行って、5時間コース。

【 恵 】 お互い休日のときは、家でずっと。

【由美】 寝不足にならない？

【 恵 】 すっごく眠い。だけど由美が気にすることじゃないよ。私がしくてやってるんだから♪

【 恵 】 話戻るんだけど、彼のアソコ、すごい大きいの。

【 恵 】 それに、淫語って言うらしいんだけど、下品で卑猥な言葉に興奮するんだって。

【 恵 】 だから、声張ったり、啞えたりとかで、口まわり結構きついもん。

【 恵 】 まあ、でも。テクニックはこれまで付き合った中では一番かな～。

【 恵 】 私の感じる場所、一日目で全部バレちゃって。

【 恵 】 そんなんだから、最後はいつも気絶しちゃってるんだよね～。

【由美】 嘘……。恵がそんなになって……。珍しい。

【 恵 】 うん。こんな人いたんだって、ちょっと感動しちゃった。

【由美】 ……恵にとっていい彼氏？

【 恵 】 もちろん。だから、心配しないで。

【 恵 】 ほら、覚えてる？ 3人くらい前の元カレ。アレはやばかったね。暴力振るってきてさ。

【 恵 】 由美が話を聞いてくれて、動いて、助けてくれた。

【由美】 私が動かなくても他の人が絶対に助けてる。だって可愛い、可愛い、恵のことだ。

【由美】 ただ、あの時は私が一番初めに気づいただけ。

【 恵 】 え～、由美って自分に厳しすぎだよ。私はすっごく嬉しかったの！

【 恵 】 はあ……。あっ、そういえば、ここって禁煙？

【由美】 ん？ 違ったと思うけど…また吸い始めたの？

【 恵 】 そうだよ～。これ。彼とお揃いの銘柄♪

【由美】 うわ～。

【 恵 】 いいもん、いいもん。由美は彼氏がタバコ吸わないからわからないんだよ。

【 恵 】 彼と同じものを持っておくと、無くなったときにあげたり、キスしたときにいい匂いだって褒めてくれるんだから。

【由美】 はぁ～、恵のそういう所。私には理解できないな。

【 恵 】 ほんと真面目だね。

【由美】 そう？ 恵が流されやすいだけだと思うけど。

【 恵 】 はいはい、この話は終わり。由美のお説教は聞きたくないも～ん♪

【 恵 】 あ！ ほら、電車の中で話してたパンケーキ。食べに行こうよ。

【 恵 】 由美って可愛いのが好きだったでしょ。内装すっごく可愛くなかった？ ふわふわな感じで～。

01_プロローグ

ん…？ 頼み事？

ああ、君のためなら何（なん）でもするが……どうした？

…落ち着け。言いづらいことなのか？

ああ…泣くな、泣くな。

ほら…安心しろ。私はここにいる。

息を吸って…吐いて…。

感じるだろ。君のことが大好きな私の匂いだ。

いくらでも抱いてくれてかまわない。

時間はあるんだ。

よーし、よーし、君はいい子だ。

ん…もう大丈夫なのか？

……ああ。君の告白、聞かせてもらった。

私に他の男と寝て欲しい…か。

辛かったな。

嫌われるかと思うのは常識的だからこそだ。

何もおかしいことはない。

だが、まあ…難儀な性癖を持ったものだ。

自分の彼女を他の男に抱かせたい、寝取らせたい、か……。

ああ、心配しないでくれ、君のお願いだ。

君のために、君が望むなら寝取られてくるさ。

ふむ、そうだな…恵（メグミ）に相談するか。

彼女、知っているだろ？

恵ならきっといい（・・）男を紹介してくれるはずだ。

ん？ 乗り気なのかって？

楽しみだ……………といたら興奮するのだろう？

ふふっ、ズボン越しでも勃起しているのがはっきりわかる。

…ほら、話は終わりだ。

固くしたソレを鎮めるぞ。

ん…………ちゅっ♡

01b_由美と恵の通話

【由美】 もしもし恵？

【 恵 】 あれー？由美が電話してくるなんて珍しいね。どしたの？

【由美】 うーん…その……

【 恵 】 あーもう、由美らしくない！わたしたち友達でしょ？ ほーら、はやく。

【由美】 …わかった……男を紹介して欲しい！

【 恵 】 は?! 由美って彼氏いたよね?!

【由美】 ああ、いるが…、その……。

【 恵 】 わかったわかった。

【 恵 】 どうせ由美のことだから、彼氏にでも頼まれたんでしょ。

【 恵 】 他の男と寝て欲しいみたいな。

【 恵 】 由美もあんなに彼氏に一途だったのに、なんで断らなかったの？

【由美】 私もわからないんだ……。

【由美】 いや、思い当たることはある。

【由美】 恵の話を聞いてたからかもしれない。

【由美】 彼はその…アレなことはアレだと話したろ？

【由美】 それに…恵はいつも彼氏とのアレを、楽しい、気持ちいいと、幸せそうに言っていたじゃないか。

【 恵 】 はあ～～。私のせい、か……。あの由美がねえ～。

【 恵 】 ま、責任感ない訳でもないし、とびきりいい男紹介してあげる。

【 恵 】 セっかくの機会なんだし、可愛い由美をほかの男に抱かせるようなやつ忘れて楽しんできたらいいよ。

【由美】……ああ、そうだな。私を1度でも他の男に抱かせることを後悔させてやる。

【 恵 】 ふふっ。それでこそ由美だね。

02a_対面座位で寝取らせ報告

ん……ただいま。

あ、ああ、10時ごろに帰る約束だったな。

ん？ 帰ってこないか心配だったのか？

時計をってみろ。しっかり10時だ。

朝か夜か確かめなかったのは君だろう？

ふふっ、送り出してくれたときは気が気じゃなかったか。

だが考えてみろ。

私が好きなのは誰だ？

いつも私は誰を優先している？

君だ。私の愛しの彼氏の君だ。

大丈夫だ。私が君から離れると思うのか？

ほら、こっちに來い。抱きしめてやろう。

んっ……ぎゅーっ、と。

どうだ？ 気持ちいいだろ？ 安心するだろ？

私もだ。

君が側（そば）にいるのを肌で感じる。

ぬくもりが安心させてくれる。

昨晚ずっと他の男に抱かれた汚い体が浄化されていく気がするよ。

ああ、君が必要だ。

…ん？ いつもと匂いが違う？

ふふ、気づいたのか。

これは、私の体を昨晚好きに使っていた男の香水だ。

柑橘系の爽やかないい香りだとは思わないか？

…ふふっ♪

すまない、すまない。泣き出しそうな顔が可愛くてな。

だが……君はこういうのが好きなんだろう？

ほら、ベッドに行くぞ。

ふふっ♪ 君も早く聞きたいだろ？ ズボンを脱いでくれ。

……んっ！？

服の上からでもはっきり見えていたが…興奮しているんだな。

ああ…♡

君がこれほど勃起しているのは初めて見た。

そんなに寝取らせ報告が楽しみだったのか？

そうか……。

ん……いや、すまない。

考えると不甲斐ない彼女だと思ってな。

君が何（なん）に興奮するかも知らずにセックスをしていた。

私に教えてくれ。マゾで寝取られ性癖の君のために何（なに）をしたらいい？

……それでいいのか？

ああ、任せてくれ。

君が望む通り、ドスケベに、淫語混じりで嘘偽りなく報告することを誓おう。

…だがその前に。君の普段より勃起したおちんちんを入れてくれ。

他の男に抱かれ、汚れた体だ。

君ので上書きしてして欲しい。

ん…ありがとう。

ズボンを脱いで座ってくれ。

ん……ゴムを付けるぞ。

君のはこの大きさだったな…。

あとは、私が上に乗るぞ。

ふふっ、昨晚散々間男にもした、君の大好きな対面座位だ。

……ん…んあ、は、入ってくる♡

…ああ……はあー…………♡

ん……早速だが報告を始めよう。

君のペースで私の中を犯していいからな。

ただ、しっかりと私が君のものだと上書きして、わからせてくれ♡

んっ……♡…ああ……そうだな…まずは、相手の男だ。

恵が紹介してくれた。

名前は雅也（まさや）。

君とは正反対な人だな。

身長が高く、肩幅も大きく、ガッチリした体。

スポーツで鍛えられた程よい腹筋が、とてもカッコよかったのを覚えている。

ああ、顔もイケメンだった。

中学の頃から彼女がいなかった時期がないと自慢していたが、納得したよ。

いかにも雄（オス）らしいやつだ。

女なら一度は抱かれてみたいと感じるだろうな。

もちろん私も含めてだ。

ガッツリした手のひらで肩を抱かただけで、おまんこから愛液が出てしまったよ。

どうした？ おかしい？

君とやるときは、いつも一時間は前戯に時間をかけていたな。

考えてみてくれ。

モテる男のおちんぼはすぐに受け入れなければ、他のメスに取られるとは思わないか？

そういうことだ。

本能で体が受け入れる体制を整えるんだ。

ああ、この理屈だと君はモテないということになるが、…私さえいればいいだろ？

君とゆっくり話しながらする前戯の時間も、好きに決まっている。

ほら、よしよし、心配するな。

……ん、それで、続きだが話してもいいか？

ああ。

……挨拶もそこそこに、気づいたら彼とラブホテルの前にいた。

少し小洒落た所で、何人もの女がここで彼に食われたんだと、感じずにはいられなかったよ。

そうだな…逃げたいとは思わなかった。

もちろん、君の頼みだというのものもあるが…子宮が疼いていたんだ。

君の彼女であることを忘れていたのだろう。

エレベーターでは私から彼にキスをしてしまった。

我慢できなかったんだ。

彼に抱かれないと、興奮して欲しいと思った。

君とする優しいキスじゃない。

ただ男をその気にさせるためだけの行為だ。

つま先立ちになって、唇をついばみ、舌で唾液を交換する。

君もしてみるか？

ん……ちゅっ♡　じゅちゅっ♡　ん、じゅっ♡　じゅっ、じゅっ♡

じゅっ、じゅちゅっ、じゅっ、じゅっ、んじゅっ、じゅちゅっ♡

ふふ、このキスが気に入ったみたいだな。

……だが……雅也との方が……♡

あ、ち、違うんだ…ちょっとだけ、ちょっとだけだぞ。

い、いや、君は初めてなんだ。

仕方ないことだとわかっているからな。

そ、それで！

……どうする？

他の男のお下がりのスケベなキスと、君だけにしかない愛を示す優しいキス。

今後はどっちをして欲しい？

…君ならそっちを選ぶと思った。

話を戻すぞ。

キスで腰を抜かしてしまった私は、彼にうなだれながら部屋に入ったんだ。

着ていたものはすべて脱がされ、胸や乳首、おまんこも弄られてしまったよ。

ああ、それもじっくり、丁寧にな。

信じられるか？

乳首を5分いじられただけでイッてしまった。

こんな経験初めてだった。

「いや、いやっ、やめてっ♡」

と、何度も言ったよ。

だけど彼はニヤリと笑うだけで、手が止まることはなかった。

必死に体をよじらせて快感から逃れようとしたが、無理だった。

ああ、彼のテクニックには勝てないと理解したよ。

ん？ 信じられないのか？

君には、あんな情けない姿を見せたくなかったからな。

いや、すまない。

私の初めてはなるべく上げたかったのだが…。

もう無理だ♡

ふふっ♪ 二番目でよければ、彼に頼もうか？

いや、なに、彼の趣味がハメ撮りだからだ。

当然私も撮られてしまったよ。

自分が寝た女だという証に撮るらしい。

少し見せてもらったが、百は超えていたな。

君とは大違いだ。

ふふっ。

まあ、そういうことだから、頼めば貰えるはずだ。

……本当にいいのか？ 見たくないものが写ってるかもしれないぞ？

…あんっ♡

おちんぼで答えるな♡

んっ、んっ♡

ああ…♡ いつもより、おちんぼっ♡大きくて気持ちいい♡

ハメ撮りがあると知って興奮したんだな？

見たいんだな？

なら…、

「彼氏にあなたとのハメ撮り見せたいです♡

あなたの大きなおちんぼでイカされまくった私の姿、スマホに送ってください♡」

と、お願いしてみるよ。

ん？ 彼のおちんぼが大きかったか、だって？

男は気になるものなのか……。

ああ、正直に言う。嘘偽りなく話すと君に言ったからな。

…形も太さも立派で、大きかった♡

んっ！？…あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

そ、そんなに動くとっ♡ 話がっ♡ できないだろっ♡ んあっ♡

比べられるのがっ♡ い、嫌だったんだな♡

あっ、あっ、あんっ♡

彼女一人満足させられないっ♡ ダメな彼氏だって知りたくなかったんだなっ♡

んあ……ん……。

嫉妬すると、君のおちんぼは勝手に大きくなるんだな。

んっ…悔しさと興奮が混じった…ひどい顔だ♡

私のことが好きじゃないと、愛していないと、そうはならないな。

ありがとう。

…でも、まだ犯されているときのことを聞いてない、って顔だ。

君が知らない男に汚されたのを聞きながら、彼より愛してるって示してくれ。

ん…ふう…ふう…。

ああ、彼にイカされて立てなくなった私は、抱きかかえられてベッドへ運ばれたよ。

彼の愛撫でぷっくりと大きくなった下品な乳首。

いつでも挿入できるところオマンコ。

全部、全部見せてしまった。

自分で言うのもなんだが、発情しきった極上のメスを、本能と性欲のままに食べてくれ、
と言っているような姿だ。

もちろん、彼は興奮していたよ。

今思えば、あのときは完全に堕ちていた。

孕ませるために、勃起した雄々しいおちんぼ。

思わず「早く入れてっ♡」と、ねだってしまったよ。

ん？ 君には言ったことなかったか？

すまない。

だが、仕方ないだろ？

君のは…その…、彼ほどオスらしくな……んっ♡

んっんっ…そんなにっ、んっ…嫌だったか…あっ♡

可愛いぞ…嫉妬してるんだなっ♡

寝取らせたくせにっ、悔しいんだなっ♡

いいぞっ♡ どんどんおちんぼ大きくしてくれ。

もっと、もっと興奮させてやる♪

知ってたか？

……昨日はゴムを持って行きそびれたんだ♡

ふふっ、君の想像どおり。

生ハメセックスというやつだな。

子どもを作るための、男と女の行為。

赤ん坊ができてしまうかもしれない危険なセックス。

愛液で溢れたオマンコに、ずぶぶーと入ってきたよ。

ああ…すごかったあ♡

太く、熱い、おちんぼが肉をかき分けるのが感じられるんだ。

薄いゴム一枚ないだけで、ドキドキが止まらなかった。

いけないことをしているようだった。

これが動いたらどうなるのか想像がつかなかったよ。

ああ、そうさ、不安だった。

だけど、そんな私に彼は、

「お前の顔、期待してるの丸わかりだな」と言い放ったよ。

心のどこかで強がっていた私は、顔が熱くなって、羞恥でおかしくなりそうだった。

ん？気になるのか？

後で動画を確かめるといい。

とっても、えっろいメス顔が撮れたと、彼も自慢気（じまんげ）にしていたよ。

正直、思い出すだけでもアソコがきゅんきゅんするんだ。

話している今も、君のおちんぼに絡みついて離さないだろう？

これがもっと…もっと…褻が勝手に下から上へ、おちんぼから精液を搾り取るように動いていた。

まあ、その、なんだ。

ここからは…獣のようなセックスだった。

ベッドに寝かされ、腕を捕まれ、彼の雄々しいおちんぼをおまんこで咥える。

力強く、どちゅっ、どちゅっ、と、便器として扱っているような、身勝手なピストンだ。

子宮口のあたりまでを、ぞりぞり、ぞりぞり、無理やり削られるようだったよ。

だが、それでも発情しきった体には、快樂だった。

……その後のことはあんまり覚えてない。

彼と私はだんだんとセックスに集中していった…はずだ。

筋肉ががっちりついた彼の太ももと私の柔らかい尻肉（しりにく）がパンッ、パンッとぶつかる音。

肉棒と褻が絡まりながら奏でるいやらしい水音（みずおと）。

奥深く、子宮口を疲れる度に、腰がビクリビクリと跳ねるようにイッた。

何度も、何度もだ。

君とは体験したことのない、中イキ。

声が漏れ出て、電流が走るように、腰が自然と跳ね上がったよ。

だが、我慢できるようなものでもなかった…いや、我慢しようとさえも思わなかった。

押し寄せる快樂の波に任せるように、気持ちよくなりたい。

このおちんぼを受け入れているだけで、永遠の幸せを手に入れることができる、と錯覚し
そうなくらいだった。

……すまない。

この体は、一晩で数え切れないほど彼の精液を飲んでしまっている。

ごくごく、ごくごく。

膣（ちつ）奥で出され、子宮の入り口をくぐり抜け、今は子宮にどれだけの精子が残っているだろうか。

もしかしたら、卵子の出るところまでまでたどり突いているかもしれないな。

何度も、何度も、白く濃厚でどろっとした精液。

ああ…♡…排卵していたら受精していたかもしれない。

君だけの体で、君だけを愛する私が、君の頼みで、汚れてしまったんだ。

君のために、他の男に抱かれてきたんだ。

幸運にも排卵日じゃなかった私の体に、君の彼氏だと早く思い出させてくれ。

ほら、

んっ…あっあっあっあっ♡あっ♡好きっ♡好きっ♡

あっあっあっ…ああんっ♡

あっあっあっ♡ スキスキスキスキっ♡ 大好きっ♡

ほらっ♡この体が♡君のものなんだとっ♡

もっと♡もっと♡激しくっ♡パンパンッ♡パンパンッ♡突き上げてっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡いいっ…君のおちんぽっ…あっあっ♡

…あっあっあっやっ♡ いつもよりっ…すごい♡

んあ……♡ん……っ♡

んっ…あっ…あっ…ああんっ…♡

んんっ…はやくっ♡なあ♡……いいだろっ？♡

好きっ♡好きっ♡あっあっあっあっ♡あっ……………。

……早すぎ……。

ん？ なんでもないさ。

……ああ、君の気持ち、子宮に伝わったよ。

感じる…中で最後まで射精しようと動いている。

ゴム越しに孕ませに来ているのがわかる。

ああ…いつもより長い…、それに量も多いんじゃないか？

さすが私の彼氏だ。

ん……ふう……。ふう……。

ああ、すまない、少し疲れたみたいだ。

…一晩ヤッた後だからな。

その…なんだ…。このまま、グューッとしながら寝てもいいか？

ありがとう。

君と一緒にいられてとっても嬉しいよ。

大好きだ。

02b_【喘ぎ声・キス】ハメ撮り

んっ……！♡

裸にしたと思ったら、胸ばかりいじってっ……んっ。

胸のサイズがお前も気になるのか…？

んっ……Hカップだ。

んあ……こんな無駄に大きいの…揉んで…ふう……何がいいっ？

浅はかだな。

んっ…こんな脂肪の塊……お前を満足させるくらいにしか使えないだろうな。

揉まれても…んっ……気持ちよくなんか…な……ンン——ッ！！

ど、どこ触っている！？

んっ…やっ……だっ、だめっ……！

ん…ひゃっ！ あっあっあっあっ、なんでっ…あっ、あっあっ、あっ、んっ…なんで乳首
だけでっ…んっ…こんなにもっ…気持ちいい♡

はあ、んっ、はあ、はあ、んはあ……んっ…はあ……はあ……はあ……♡

あっ…あっ…あああ…そ、そんな♡

コリコリって……コリコリって…んっ…触ってるだけっ、なのにっ…んんっ……なんで
っ！♡

あっ、あんっ、あっ、すごっ…すごっ♡

あああ…ダメ……やめてくれ……♡

あっ、あっ、そ、そんな♡ だ、だめだ♡

乳首っ、乳首いじられただけでっ…あっあっ…んっ…いっ、イッてしまう♡

あっ、あっ、あっ……これ以上は…あっあっあっ、あっ、いく♡

や、やめてくれっ、ああ…ああ……お前が雄（オス）として優秀なのはっ、んんっ…わかった、わかったからっ♡

まだっ、まだ、イッたことっ…ンンッ！ …ふう……ふう……ないんだ。

ふー、ふー♡

乳首でイクの……彼氏にあげる予定なんっっっ……ああっッ！♡

やっ、やっ、やっ、やだっ♡

乳首いじるの上手（うまい）とっ…すぐイッちゃいそうに、なるだなんてっ、ああっ…イクっ、ああっ…知らなかった、ああっ…イクっ、あっ、イクっ♡

あっあっあっああんっ！…ダメっ、イクッ♡

あああ……そこつねるとっ…あっあっ…あああ……くるっ、あっあああ…くるっ♡

あっあっあっあああ…イクっ…イクからっ…あっあっあっダメっダメっ…あっあっあっあああ我慢できないっ♡

…いくっ、ふー♡ふー♡いくっ、あっあっあああああああいく、いくいくっ、いっ、いくっ、イクッ、イクッ♡

いっくうううううううううっっっっっ……♡

っああ………ああっ、あ、あああ、ああ、あ、あああ……♡あああああ………♡

はああ………ふうー……ふうー………。

ふうー……ふうー……ンンッ！♡

なっ、なにをっ！

あんっ♡…んっ…お前っ……んんっ……あああ…あああ……さっきイッたばかり…だぞっ♡

や…やめてくれっ！

あっあああ…イクっ、ああっ…許してっ…許してくれっ…♡

あっあっああっ……ダメっ、触るなっ♡

あっあっあああ…あああ…イクっ…イクっ…あっあっあっダメっダメっ…あっあっあっあ

ああお前のっ、お前のテクっ♡あっイクッイクッ♡…ああ…すごい認めるからっ♡

ンンンンッ♡ああああああイクイクイクイクイクっ……ッッ♡

イっっっっくうううううううううううううっっっっっ……！！

んっ…んっ…んっ…んっ…んっ……………。

はあー……はあー……んっ……………ンンンッッ♡！

あっあっあっあっあっあっあっあっ…ああっ！

ンンンンッ♡ンンンンッ♡んあああ…あああ…んあああ…あああ…♡

ンンンンッ♡ンンンンッ♡あっあっあっあっあっあっあっあっンンッ！ンッ！ンンン
ッ！

ンンンンンンンッッーッッッ！

ああ……はあああああ……。

はあー……………ふううー……………はあー……………ふううー……………はあー……ふう
うううう……………。

はあああ……知らなかったっ……♡

んっ……乳首で……イケたの……はじめてだ……♡

ああ…だめ……。

イキすぎて……力が……ひゃっ♡

あああ…嬉しい…♡♡ お姫様抱っこ♡ あああ…諦めてた夢だったのにっ♡♡♡

……んっ、ありがとう♡

んっ…あっああっあああ…気持ちいい……♡

あっ…あああっ…このおちんぽっ……太くて…膣（なか）…ぞりぞり、ぞりぞり、えぐられるっ♡

はぁー……♡はぁー……♡

んんっ♡ いい…いいっ……♡

下から力強く突かれるのっ…気持ちいい…っ♡

んっ…あっあっあっあああ…ああ…あっあっあっあっ…あっ♡

ふうー…んっ…ああ…あっあっあっあっ…あっあっあっあっ♡

んっ？ 何っ？

あっあっあっああ…どうしたっ？

んっ…また…何かして欲しいんだな…。

ああ…お前の言うことなら…んんっ……聞いてやらないでもない♡

あああ……すごい…気持ちいい……んっ…何だ？

……ふふっ♡…いいだろう。

あっあっあああ…ああ…私が男を…んっ…名前と呼ぶのは、これで二人目だ。

雅也……雅也…雅也…♡

んんっ…おちんぽ…おおきくなった♡

あっあっ…いいっ…太い…ごつい♡

んあ…もっと…もっと…んっ、私も動くぞっ♡

あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…♡

あっ…んっ…オマンコっ…あっ…あっ…打ち付けるようにっ…あああ……あっ…あっ…あ
っ…あっ…♡

あっ…あっ…あっ…奥っ…奥っ…あっ…あああ…コンコンっ…コンコンっ…あああ…ダメ
ッ…あああ…病みつきになるっ…♡

あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…あっ…♡

雅也あ…雅也あ…あっ…あっ…なんでだっ？…なんでっ…あっ…雅也とのセックスは気持ち
いいんだっ♡

あっ…あっ…ああ……ああ……あっあっあっあっあっあっ…♡

ダメッ…もっと…もっと…感じたいのにっ……くるっ…くるっ…♡

さっきから、あっ…あっ…ああ……イキ癖…ついてるっ♡

あああ…あっあっあっあっあっ…いくいくいくいく……っっ……イっくっっっっ！！

はあー……ふううー……はあー……♡

んはあ……はあ……はあ……♡

ん……んちゅ、ん、チュッ、チュウ…あっ…はあ……んっ、ちゅっ、れろ、れろお、ヂュ
っ♡

んじゅっ、じゅる…じゅる、じゅっ…ん、ハア…んっチュっ、ちゅう、じゅじゅっ♡

んっ…うふっ、むうっ、んっ、はあ…っちゅう、ぢゅっ、ぢゅぢゅる……ん、れろおお
っ♡

はあー…はあー…♡

ん……煙草ならそこに置いてたذار…。

なんだ？

…ん…それは……。嫌いだったんだ。

だが、雅也が吸っているのは…嫌（いや）じゃない。

いや…でも…吸ってみるのは……。

ん……………雅也は私に吸って欲しいか？

しょうがないなあ…♡

これ、雅也の香水か？

すんすん。

柑橘系のいい匂いだ。

これなら、雅也の煙草の匂いも消えるな。

借りるぞ。

…ん？ この後は、遅くなったが彼に会いにいくつもりだが。

……えっ！？他の男の匂いをつけて行くのは、おかしい…のか……。

…なんだ、驚かすな。

私が男をあんまり知らないからって、つまらない嘘をついて！

つけて帰ったほうが泣いて喜ぶんだな？

よかった♪

03abc_お出かけデート_デート中の離席_カフェでお話

久しぶりだな。

少しやつれているようにも見えるが、大丈夫か？

ああ、そういうことか。

私と会えない間に君じゃない男とセックスしていないか不安だったのだな。

心配しないでくれ。

私が君の事を好きなのを疑うのか？

違うな。

ああ、今日はデートに行くのだろう？

なら速く行こう。時間は有限だ。

ふふ、思い出さないか？

初めてのデートでも私から腕を組んで歩いたな。

君は胸があたるからと顔を真っ赤にして……懐かしい。

ん？ どうした？

…煙草の臭いがする？

……ああ、最近吸い初めたんだ。

恵が勧めてきたから、少しだけだぞ。

その……煙草が嫌いか？

ん…よかった。

そうだな…昔は嫌いだった。

だが最近（・・）、やってもいいことを否定するのはどうかと思ってな。

これも、君が勇気をもって性癖を告白してくれたからだ。

……この話は終わろう。

さっさと出かけるぞ。

今日は私に似合う服をたくさん選んでくれ。

…ふふっ、もちろん下着も。

すまない、遅くなった。

仕事先からの連絡が長引いた。

顔が赤い？

速くデートを再開したくて走ったからな。

さあ、今度は下着売り場だ。

私に似合うのを選んでくれ。

今日は楽しかった。

君が選んでくれる服は……どれも可愛くて。

自分で言うのもなんだが、私はスタイルがいいだろ？

身長は174と高めで、胸もHカップだ。

ダメージジーンズにショート丈のトップスで腹を見せたり。

デニムのタイトスカートにオフショルダーのトップスで露出を多くしたり。

自然と肌を見せる服が似合うと言われてしまう。

だが君は、白のロングワンピや淡色のかわいいロングスカートを選んでくれた。

どれも一人だと買えなかったものだ。

ありがとう。

ん？ もちろん、下着もだな。

フリルのたくさん付いたピンクのショーツとブラ。

今日は無理だが、また見せよう。

ああ、明日急な仕事が入ってしまってな。

気づいていたのか？

すまない、デート中なのに何度も席を外してしまった。

…ありがとう。君は優しいな。

ん？…もしかして…溜まっているのか？

だが、今日はもう帰らなければ…。

彼氏なら我慢できないか？

…ふふっ、偉いじゃないか。

そうだ、そんな君に提案なんだが……もう一度寝取らせプレイをやるのはどうだ？

以前、君に寝取らせ報告したときに出た精子の量……すごかった。

ああ。あのときの君はとっても必死で、可愛くて愛おしかった。

それに…君も興奮したんだろ？

遠慮するな。私の彼氏なんだ。

正直に言ってくれ。

ほら、ほら♪

「寝取られてきてください」、言えるだろ？♡

……ふふっ冗談……、って本当に言うのか……。

はぁ……わかった。

君の期待に答えよう。

そうだな……おそらく来週になるが、それでいいか？

03d_【フェラチオ】彼氏に隠れて

ん……これでいいか？

何度もメールをしてきて…雅也には恵がいるだろ？

仕事中でかまってくれないからって……仕方のないやつだ。

で、煙草くらい自分で買えないのか？

なっ！？…私の買ったのが好きか…。

誰が買おうが一緒なのに…雅也も物好きだな。

ほら、吸うんだろ？ 火、つけてやる。

……こんな人気（ひとけ）のない所に呼び出したんだ。何かあるだろ？

……口で抜いて欲しい……。

私は彼とのデート中だぞ。本気なのか？

雅也のものを咥えた口で、彼と話をするなんて…。

——んんっ♡んっ♡んちゅっ♡んん——っ♡……はぁ♡

ん……息…煙草の味だ♡

ぁぁ……お腹に当たるこの感触。

雅也のおちんぼが苦しそうだ。

……はぁ♡ 仕方がない。

私の口マンコ使ってやる♡

激しいのでサクッと終わらせるぞ。

速く戻らないと、彼が可哀想だ。

んぁぁ……ちゅっ……じゅ、じゅる…じゅるるるる……んっ…じゅるるるる…♡

んじゅっ……じゅっぱっ、じゅっ♡

じゅるるるる……じゅっ…じゅちゅるるるるっ♡

んじゅちゅっ、じゅるっ、じゅっ、じゅるるるるるるうう……んぽっ♡

んううっ……じゅ、じゅちゅる、ん、んじゅっ……んじゅっ……ん、んじゅちゅっ……じゅっ…ん、じゅちゅる、じゅちゅるるっ……♡

んっ…雅也の…やっぱり大きい♡

んっ……じゅっ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっっぽ！

んっ……じゅるるるる…んっ…じゅるるるっ♡

んっ…じゅるっ！じゅるっ！じゅちゅっ！じゅちゅっ！じゅるっ！…んっ…じゅちゅるるるるっぽんっ！♡

んんっ……んじゅっ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！
…んあっ…。

んはあ……んはあ……美味しい…♡

んっ……じゅちゅるるるる、んっ……じゅぽっ！じゅぽっ！じゅぽっ！じゅぽっ！

んっ…じゅるるる…じゅるるるうう……っぽんっ！

んじゅっ、じゅっ、じゅる、じゅる…はあん…んっ、じゅっ……じゅちゅるるるううううっ♡

ンンッ…じゅぽんっ！じゅぽんっ！じゅぽんっ！じゅぽんっ！じゅぽんっ！じゅぽんっ！

んっ…じゅっ！じゅっ！じゅっ！じゅるっ！じゅるっ！じゅるっ！じゅるるるるるっっ
…んっ♡

んあ…おちんぽお……気持ちいいか？

んふっ………じゅっ…んじゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっっぽっ！

んじゅちゅるるる…じゅちゅるるるるるっっっぽっ！……んああっ…あ……レロレロレロ

…あ…レロレロレロおお…♡

んっ…フェラ……下手だったから…教えてもらったこと……練習したんだ…。しっかり…
できてるか？

ふあっ♡ 頭撫でるなあ……♡

……ああ…んんっ……じゅるるる……んっ……じゅるるっ…♡

んっ…じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！

…んっ…じゅ、じゅじゅっ…じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！ん……じゅちゅ
るるるるる……んっ…っぽんっ！♡

はあ……はあ……ん…なに笑ってるんだ♡？ …私の顔？ 変なのか？

見てみろ……ってまた撮っていたのか？

ん……これが、私。

デカちゃん啜えて、鼻の下伸ばした、ドスケベなフェラ顔を、彼氏以外の男に…。

……雅也はこの顔……好きか？

んっ♪…なら、仕方ない。…仕方ない。

雅也のおちんぽをさっさと抜いて戻るとしよう。

んあっ…じゅちゅ、じゅちゅ、じゅちゅるる、じゅちゅるるるるっ♡

じゅろろろろっ…んっ、ちゅっ…じゅろっ、じゅぽっ、じゅちゅっ、んじゅ…っ♡

んはあ……っ……じゅちゅるるるるるううっ…んあ……じゅちゅるるるるるうう♡

ん…レロレロおお……レロレロおお……んんっ♡

ん…亀頭の裏側から…カリ首を…んっ…舐めるようにっ。

じゅっ、じゅっぽ！じゅっぽ！じゅちゅ！じゅちゅっ！じゅっぽ！

ん…んあ…じゅちゅ！じゅちゅ！じゅちゅ！じゅるるっっ！…じゅちゅ！じゅちゅ！じゅ

ちゅ！じゅちゅ！じゅちゅっ！

んっ…じゅっぽっ！じゅっぽっ！じゅっぽっ！じゅっぽっ！じゅっぽっ！じゅっぽっ！ん

んんっ…じゅちゅっ……ぽっ♡！

……はぁ……ん…もうすぐでそう……。

んぁ……最後は口マンコ……全部を使った…バキュームフェラ♡

ん…んおお…じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅっぽ！じゅるるるるるるるるるるるっ
っ！

んっ…んおっ……じゅちゅるるるるるるるるるるるるるるるうううううう！……んお……じゅちゅ
っっぽっっんっ！

じゅっぽ！じゅっぽ！じゅるるるるるるるるるるるっ……んんっ…んんっ…じゅちゅるるるるる
るるるるるうううううっっぽっんっ！

んっ…じゅるるるる…じゅるるるる…んっ…じゅちゅるるる…ちゅるるるるるるるるるる
うううっっ…っぽっ！

じゅちゅっ！じゅちゅっ！じゅちゅっ！じゅるるっっんんんっっっ！ンンッ！ンン
ッ！ンンンンッッッ！

んっ……はぁぁぁぁぁぁぁぁ……♡

……んっ……んっ……んぐ……んぐ……んぐ……んぐ……んっ……

…♡

んんっ…んんぁ……ん……ずじゅるるるるる……ずじゅるるるるるるるるるるっっ…んっ
ぽぁっ！

んぁぁぁ……どうだ？

雅也に教えてもらった通り……最後の一滴まで、飲んでいるだろ？

んはあ……はあ……はあ……♡

ん……あとは……その……雅也のおちんぼ…フェラさせてくれて……ありがとう。

わ、笑うなっ！ 雅也が言うのが礼儀だって言ったんだろっ！

あぁーもうっ！戻るっ！

……その……なんだ……。

煙草が切れたら…連絡してこい。

っ……すぐに行ってやる。

04_誕生日の通話

【由美】 はあ……はあ……はあ……はあ……………。

【由美】 んっ……もしもし。

【由美】 こんな遅くまで連絡もせず…すまない。

【由美】 心配をかけてしまったか？

【由美】 ああ、初めてのことだ。私も驚いているよ。

【由美】 ん？ 何をしているのかって…内緒。

【由美】 君も知れば喜んでくれるとは思うが、今はダメだ。

【由美】 それに、心配しなくてもいい。

【由美】 まだ一緒にいるからな。

【由美】 恵～。

【 恵 】 んっ…んっ……はあ……。こんばんは～。

【 恵 】 私、恵だけど、ご無沙汰～。

【 恵 】 今日は君の彼女借りちゃってごめんね。

【 恵 】 ど～しても今日じゃないとダメな用事だったの。

【 恵 】 うんうん。そうなの～。あっ、もしかして、お家デートとかする予定だった？

【 恵 】 うわ～～、ホントごめん。空気読めてないよね…。

【 恵 】 いつかお礼するから、許してくれる？

【 恵 】 ありがと～～。

【 恵 】 今日は、私が責任持って家に泊めるから、そこは心配しないでね。

【 恵 】 も～う、由美っ！ 彼氏くんめっちゃ気にしてるよ！

【 恵 】 ……うわっ！ 目を話したらすぐハメてる～。ほら、電話戻って。

【由美】 んっ……ふう……。恵は相変わらずだろ？

【由美】 ああ、彼女が結構粘ってるのが原因でね。

【由美】 私の方もまだ中途半端って感じさ。

【由美】 はあ〜、恵にも困ったものだ。

【由美】 そういえば、

【由美】 今日は、君の誕生日だというのに……本当に申し訳ない。

【由美】 ん、ありがとう。

【由美】 君は優しいな…。

【由美】 ああ、明日は必ず行くから。楽しみに待っててくれ。

05_【おほ声】 恵のハメ撮り報告

やっほー、由美の彼氏くん。

由美のこと私が独り占めしちゃって、この前はごめんね♪

あの子、全然誕生日のこと言わないから、大丈夫なのかなって。

ん？ 気にしてないの？

ふふっ、そっか～～♪

ねえねえ、ソファでちょっと話そうよ。

お詫びも兼ねてね♪

…ふう～～ん……。

ここが由美の彼氏の家か～。

なんか地味。

……だけど、そんなことより、座って、座って♪

それで、私は、君の……右隣。

これでいいね。

それじゃ、とりあえずスマホ…見て♪

んああ……ちゅっ……じゅ、じゅっじゅっ♡

ん…じゅる…じゅるるるる……んっ…じゅるるるるる…♡

んじゅっ……じゅっ！じゅっ！じゅっ！じゅっ！じゅっ！じゅっぱっ…♡

んはあー……♡んはあー……♡

んちゅっ…れろれろれろれろ……んっ……れるれる…れるれるれるお……♡

んじゅちゅっ、じゅるっ、じゅっ、じゅるるるるるるうう……んぱっ♡

んんっ……じゅるるる……じゅっ…じゅちゅるるるっ♡

んううっ……じゅ、じゅちゅる、ん、んじゅっ……んっじゅっ……んっ、んじゅちゅっ…

…じゅっ…んっ、じゅちゅっ、じゅちゅるるるるるるるっ……♡

こーれ♪なんでしょっ？

…はい、正解♪

これは、私と彼氏の、ハメ撮り♪

いちゃラブしまくってる、恋人同士のエッチだよ♪

……ちなみに、由美と一晩中パコパコした男でも、あるんだよね～♡

ふふっ♪ 驚いたあ？

由美に紹介したの、私の彼氏なの。

だからあ～、これから見るハメ撮りは、ぜ～んぶ由美が経験したことのあるプレイかも♡

それに君も知りたかったよね？

…由美がどんな男と寝てきたのか。由美がどんな風に犯されてきたのか。

由美じゃない別の誰かからの、本当（・・）の姿を。

……期待してるなら、しっかり聞いててね♪

まず、彼の名前は雅也。もう聞いてたかな？

彼って、ともかくイケメンなの。

顔だけって意味じゃないよ。

高身長で、筋肉もしっかりついてて、肩幅もあって、抱かれているときの安心感がすごいタイプ。

見た目はオラオラな感じだけど、重い荷物を持ったおばあちゃんを助けたりするんだよ。

まあ、私にはあんまり優しくないんだけど…そこのギャップが好きなの♡

あとは…性欲。友達とバーで飲んでたら、声かけられて。

そのままトイレで彼のおちんぼ啜えて、我慢できずにホテルへ直行。

そのまま、付き合うことになって、はじめは週6くらいでしたかな〜。

今は週4だけど、溜まった分がプレイにでて……すっごいのお♡

由美と寝た男の解像度が上がった？

あ〜あ、おちんぼ膨らませて♪

…興奮してるんだ。

君は由美の彼氏だし、お詫びってことだから抜いてあげる。

……ん…っと、これこれ♪ オナホール♪

ほら、ぼさっとしないで、ズボン脱いでよ♪

……よっし。入れるよ♪

ふふっ……すっぽり埋まっちゃった♪

これ、彼のおちんぼだと入り切らなくてね。

ゴミにしようと思ってたけど…よかった。

それじゃ、続きだね。

ああ……ねええ…♡ねえ…♡

言う通りにオナニーするからあ……ね♡

今度は絶対私におちんぼ…入れてくれるよね？♡

んんっ……雅也にハメてもらうために、ドスケベオナニー…今からしますう…♡

あああ…ああ…んっ…んっ……まずはあ…おまんこお♡

期待して愛液（あいえき）だらだらでえ♡ 少し触っただけでもお…いやらしい音立てちゃいますう♡

んっ…んっ…んっ…んっ…ん…もっと…もっと…エッチなお汁（つゆ）だすために……クリトリスを弄るのお♡

んあああ……あああ……気持ちいい……見られながらするのお…興奮するう……♡

んっ…んっ…んっ…んっ…んっ…んんっ…んっ…んっ…んっ…んっ…ん……♡

んああ…だめえ…だめえ……集中しすぎちゃうのお……♡

んっ…んっ…ああっ……ああっ……いいっ…んっんっんっ…いいっ…んっんっんっんっ…
ああっ……♡

見て♪

画面の私、すごいエロい顔してるでしょ。

これ、手マンで寸止めばかりでね♡

でもさ、せっかくイクならおちんぼ、おまんこに入れてイキたいよね？

だから、撮られながら、はめてえ、はめてえ、っておねだりオナニーしてるの。

うわあ～ここ、すごいアップで撮ってあるう～、恥ずかしいっ♪

だらだらオマンコ汁（じる）たらしながら、えっろお……♡

強い雄には、女の子ってこれだけ媚びちゃうんだよ～♡

ああ…由美も腰振って、オマンコ、ヒクヒク動かして、媚びたメス声とか出してたのかなあ？

そんなわけない？ …まあ…あの由美だからねえ。

だけど…あの長身でハスキーボイスな由美がだよ。

エッろい媚びっ媚びのメス声でえ、おねだりしてたら……。

ふふっ♪

あーっやばい……っ♡きもちい……っ♡

あぁっ、あっ、あっ、あっあっ、あっあっあっ…あっ……好き…っ…好き…っ♡

あっ…あっ…あっ…あぁあぁ……んっ…んんっ………はぁぁー……♡

あぁぁ……そこぉ……そこ気持ちいいのぉ……もっと…おちんぽでえ突いてえ♡

あぁ…おちんぽぉ……♡

あぁ…おちんぽぉ……すきい……おちんぽおちんぽぉ……♡

すきすきい……おちんぽいい……おちんぽもっと…おちんぽ激しくう…♡

あっあっあっ…あぁあぁ……んっ…んんっ……あっあっあっあっあっ…ンンンッッッ……

♡！

あぁ…これは、普通にハメてるときのだね。

バックでパンパン、パンパンって。

雄の強くてたくましいおちんぽ、中で気持ちよくなってもらうために、ぐじゅぐじゅ音を鳴らしてるの。

喘ぎ声だって、自然と出てるんだよ。

あんっ…♡あんっ…♡

こんな偽物なんかじゃない。

心のそこから気持ちいです、最高ですって。

だから、おちんぼ連呼して、おねだりしてるってわかる？

ふふっ♪その顔は……だめだよ♪

あーあ、だから由美が……ね♪

ん、なんでもない、なんでもないよ～。

ほら、次、次！

ん……んちゅ、ん、ちゅっ、ちゅっ…あっ…はあ……んっ、じゅっ、じゅっ、じゅちゅっ、
んじゅっ♡

んちゅっ、ちゅっ、ちゅる…ぢゅる、ぢゅっ…ん、ハア…んっチュっ、ちゅう、チュブッ
♡

うふっ、むうっ、んっ、はあ…っちゅう、ちゅぱっ、ぢゅっ、ぢゅちゅる……ん、れろっ
♡

…はあ、……ん…んっ♡ はあー……♡気持ちいい……♡

んんっ……んちゅ、ん、チュッ、チュウ…あっ…はあ……んっ、ちゅっ、れろ、れろお、
ヂュっ♡

んじゅっ、じゅる…じゅる、じゅっ…ん、ハア…んっ…いいい…チュっ、ちゅう、じゅじ
ゅっ♡

んっ…ふっ、じゅっ……れろお～～……れるおお～……♡

はぁぁ…っちゅう、ぢゅっ、ぢゅぢゅる……んんっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅるっ♡

れるれるう、れろっれろっ、んっ、れちゅっ、じゅっ、じゅぢゅっ…じゅぢゅっ……っん

んんじゅっっっ♡

うわぁ～、すっごい舌絡めて、えっちなキス。

どう？ こんな激しいキスしたことある？

……へー、あるんだ。

じゃあ、あそこに映ってる私を、由美だと思って……。

舌を入れて…絡めて…。

唾液を交換するように、出したり、入れたり。

気持ちよさそうに目を閉じて、舌と舌、唇と唇が当たる感触を楽しむ。

いやらし唾液のアーチをかけながら、唇が離れても、すぐに壊れる。

映ってないところで、オマンコびしゃびしゃに濡らしてるの。

つよ～い雄にキス媚びする姿。

あ～あ、なんで君じゃないのかな？

ふふっ♪

おっ…おゝ おおおお……やっべ…♡

んんっ♡ んお♡ んお♡ お♡ おおゝ …っ……んっ……おゝ おゝ お…いい…♡

おっ、おっ、おっ、おっ、おおおおお♡

下品な…声っ♡ んおっ、おっおゝ おゝ おお……ダメだっ…おお……おおおっっ♡

んおっ…おっ、おっ……おっおっおっおゝ おっ♡

おゝ おおっ……おゝ おお…んっほおっ♡ おおお…おおお……興奮するっ♡

んおおおおおっ……そこっ…きもちいっ♡

おおお…おおお…おゝ おおっ…すきっ♡

おっ、おっ、んおっ、ぎもちい…っ……おおお…んおおおゝっ♡

おおおお……やべっ、おおやべっ♡ おおおんっコレっ♡ んおおっ…おっ♡

おっ、おっ、おっ、おおお♡

イクッ……おおおイクっ…おおおっ…イクイクっ…♡

んっ…んお…おっ……♡ おっおっおっおゝ おっ♡

おおお……おおおお…おっおっおっ、おおおおおお…イクイクっ…イグっ…おっ…イグっ
…♡

イッッグうううううううううう……ツツツ♡

あっ……恥ずかしい♪

これは、彼と本気交尾したときのだ。

顔は見えないけど……こんな声だしてるんだよ。

簡単に想像できるよね？

ふふっ、そうだよ、動物さんみたいに、おほおほ声だして。

ひっどい顔してるはずだよね～♪

だけど、わかる？

これって、彼のことを本気で好きだから出てるんだよ。

だ～いすきな雄に、孕まされたくて、自分から腰振ってるの。

少しでも、気持ちよくなってほしい、精液いっぱい出して欲しいって。

全身をつかって、アピール。

声も、体も、なにもかも。

好きで好きで仕方ない人に聞かせる声。

子宮の奥深くを支配してほしくて動かす腰。

見えない顔は、とろけきって、きっと、とっても幸せだろうね。

おちんぼを咥えて離さないおまんこも、きゅんきゅんしながら搾り取ろうと動いてるの。

君は、由美をこんな姿にできたことある？

彼女の友達のハメ撮りに、自分の彼女を重ねて、オナホに勃起おちんぼ入れてる、君にできるわけないよね～。

……最後に、本気メイドコスハメ見せてあげるね。

由美に相応しくないおちんぼなんか、射精させるのがいいもん。

ほら、見て♪

んおっ…おおおっ……んんおっ♡

んおおおおお……おおお……くるっ！くるっ！くるのっ！

んっ……おおおおおお……おおおおおお……♡

おっ♡おっ♡おっ♡おおお……おおお……きもちいいっ…♡

おおおおおお……おおお……おまんこから声でるのお～♡

おっ♡おっ♡…おぉお……だめだめだめっ、今日はっ…おっおっ…私がメイドなのにな♡

おゝ おぉおおっ……んおぉおおおお……う♡

おっ、おっ……ご奉仕しなきゃダメなのお……んおっ…おっ♡おっ♡おっ♡おぉおおおお

お………おぉおおおおお………んふううう……♡

んっ……おぉおおおお……おちんぽお…おちんぽお～お♡

おっ、おっ……とろとろメイドおまんこっ…んおぉおお……好きに…おおっ…使ってっ…

ください♡

おゝ おぉおおっ……おっ♡おっ♡おっ♡…おぉお……奥っ♡奥っ♡

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

おぉおおおお……おぉお………硬いのおお…太いのおお……ゝ おおああ…ピストンやっべ
っ♡

おぉおお……おっ…おっ…おっ…おぉおお……んっ…はあー…♡はあー…♡

もっとお…もっとお……お願いします……ンンツツツ！♡

おっ♡おっ♡おっ♡んおっ♡おぉお…♡…ボルチオっ♡……おぉおおお……やっべっ♡

おっ…おぉおお…おっ…どちゅっ、どちゅって……ンおぉおおっ！

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おぉおっ♡

おぉお……だめっ…私…（ダメなメイドの略）だめいどですっ♡

おぉおお……おぉおお……ご主人様のお……おちんぽっ…全然気持ちよくできてないお…
っ♡

おっ、おっ、おっ、おっごめんさい♡ごめんなさい♡

おぉおお……おぉお……イキたいの♡ ガチアクメっ…おっ……おっおっおぉおお…し

たい…したいですうっ！♡

んっ…はあはあはあはあ…おゝ おおおお……んゝ おゝ おおおおお……ご主人様の精液っ…

…おっ、おっオマンコにっ…おっおっおっおっおっおっおっ……くださいっ♡

んゝ おっ！？ゝ おっ♡ゝ おっ♡ゝ おっ♡ゝ おっ♡

ゝ おっ♡ゝ おっ♡ゝ おっ♡ゝ おっ♡

アクメ…アクメ…くるっくるっ♡おっおっおっおっおっおっおっ……いい…おっおっおっおっ
お…すごおいしい♡

おっおっおっおっおっおっおっ……おっおっおっおっおっおっおっ……♡

だめいどオマンコお♡おっおっおっおっ……おっおっおっおっおっ……ご主人様のおちんぽでっ…

ガチアクメ決めちゃうのおっおっおっ♡

おっおっおっ……ごめんなさい…ごめんなさい…先にいっちゃうのお…おっおっおっおっおっ
おっおっ……♡

おっおっおっアクメきてるっ♡ おっおっアクメきてるう…っおっおっおっおっおっ……♡

おっおっやっべっ…おっおっ…おっおっやっべっ…イクイクイクっ……んおっおっおっ……♡

おっおっアクメ来るアクメアクメっ…おっおっ♡おっおっおっおっおっおっおっ♡おっ

おっおっ……いぐ♡いぐ♡…おっいぐいぐいぐっおっおっ♡おっおっおっおっおっおっおっ

お…イぐっいぐっ…おっおっおっおっ……ダメダメダメダメっ♡

ゝ おゝ おゝ おゝ おゝ おゝ おっおっおっ……ぐうううううううう———ツツツ♡♡♡

えっと、この日は、彼がすっごくムラムラしてて。

着替えてすぐに、生ハメ。

雄おちんぼすごすぎて、はめられた瞬間潮吹いちゃったり。

その後は、動画みたいに、私がイカされまくって～。

せっかくメイドコス着たんだから、ご奉仕するんだ～なんて思ってたのが馬鹿みたい。

ガチアクメ決めまくって、黒いメイド服が彼の精液で真っ白。

もちろん、髪の毛もね。

私のは、ブロンドだからあんまり目立たないけど…。

由美のあの黒髪だったら、どうだろうね？

濡羽色（ぬればいろ）の長くて艶のある髪。

ミニスカで、お腹も見えるメイド服。

Hカップの胸を大胆に揺らしながら、君じゃない男とガチセックス。

…ふふっ♪私の囁きよりも動画に集中したいよね。

オナホでしごいてあげてるから、好きに出していいよ♪

あーあ、オナホにいっぱい出しちゃったね。

ま、これでお詫びはできたかな。

それで、由美の彼氏くん。

君は幸せにできるの？

彼女は大切な友達なの。

だからね……できないなら別れて欲しいなって♪

06a_【W 耳舐め】由美の告白とお願い_ダブル囁き耳舐め寝取られ報告

久しぶりだな……元気にしていたか？

【 恵 】 お邪魔しま～す。

とりあえず、入るぞ。君はベッドに座ってくれ。

【由美】 すうー……はぁー……。

【由美】 君の部屋はなぜか落ち着く。

【由美】 久しぶりに来ても、付き合いだした時と何も変わっていない。

【由美】 その…しばらく君を一人にできてしまっていたが、何もなかったか？

【由美】 そうか……。

【由美】 あーそれでなのだが、今日は、君の愛が本物なのかを確かめに来た。

【由美】 私がこれまで何をしていたのかを話す。

【由美】 それを聞いても、君がまだ私のことを好きだと言えるなら、約束してほしい。

【由美】 射精だけはしないでくれ。

【由美】 どれだけ悔しくても、どれだけ勃起しても、どれだけ興奮しても。

【 恵 】 はーい。やっほー、一ヶ月ぶりだね♪

【 恵 】 由美の話に私も出てくるから～、お手伝いに来たんだよ。

【 恵 】 しっかり聞いてあげて。

【由美】 ということだ。

【 恵 】 あと～、あのとき言ったことは考えてくれた？

【 恵 】 君がもたもたしているから、こういうことになったんだよ♪

【由美】 ん？ 恵？ どうかしたか？

【 恵 】（とぼけたように）なんでもないよ～。

【由美】それならいいが…。

【由美】ではまず、結論だ。

【由美】好きな男ができたんだ♡

【由美】別に、君のことが嫌いになったというわけじゃない。

【由美】君に性癖を打ち明けられ、恵に紹介された男と寝てから…。

【由美】ただ、どうしてもなく、私の体と心は彼に惹かれている。

【 恵 】ふふっ♪ 今日も彼に二人で抱かれてきたの。

【由美】ああ、私達が高校生だった頃の制服を着ているのも彼の命令だ。

【 恵 】由美なんて、サイズが合わなくて、す～っごく、えっちでしょ？

【由美】は、恥ずかしいから言わないでくれ…。

【 恵 】だけど、その格好で彼の家から、ここまで来たんだよ～。

【 恵 】Hcup のデカ乳（ちち）が、ぴっちりしたブラウスを押し上げて～、歩いてる男の人の視線を独り占め。

【 恵 】上の方のボタンとか止まってないから、白い肌のふか～い谷間見せまくり。

【 恵 】膝上30センチのスカートの中も、階段がある度に盗撮されてたよね～♪

【由美】されてなどいない。

【由美】心配するな。しっかり、かばんでガードした。

【 恵 】だけどさ～、いやらしい目が嫌いだった由美が、露出魔みたいな際どい格好（かっこ）で、外を出歩くなんて、信じられる？

【由美】彼の命令だったんだ……仕方ないだろ。

【由美】許してくれるか？

【 恵 】それとこれ、見える？

【 恵 】は〜い大正解♪ エッチな下着だよ。

【由美】彼と恵み、3人でデートしているとき、買ってくれたものだ。

【 恵 】そうなの。由美と、色違いのおそろいだよ。

【由美】ああ、私も結構気に入っている。

【由美】ん？ ああ…君が買ってくれたやつか。

【由美】彼に、似合わないと言われてしまって捨てたよ。

【由美】フリルとか、ピンクとか、恵ならまだしも…私にはな…。

【 恵 】ほんと、センス無いよね〜。

【 恵 】下着なんて男に見せるものなんだから、えっちで〜、彼氏を興奮させるものにしてないと。

【由美】ああ、その通りだ。彼と寝るのが一層楽しみになったのは間違えない。

【由美】……勃起してるのか？

【 恵 】うわっ、ほんとだ。彼女が他の男に命令されて、こんなエッチな格好（かっこ）してるの知って興奮したんだ〜。

【由美】君はやはり……。

【由美】寝取られマゾなんだな♡

【 恵 】うわ〜知ってたけど、彼女が、君に内緒で他の男に抱かれていても怒らないんだね。由美ってばかわいそう。

【由美】…いや、そうでもないさ。

【由美】こんな君だからこそ、彼に出会えたんだ♡

【 恵 】 そっか♪

【 恵 】 マ〜ゾ。マ〜ゾ。由美の彼氏なんてやめちゃえ。勃起したちんぽ、自分でしごいて出しちゃえよ。

【由美】 約束を忘れないでくれ。ここで性欲に負けて出したてしまえば、もう私はここに来ることはないだろう。

【由美】 ふふっ♪ そろそろ、次の話をしよう。

【由美】 君は、何が知りたい？

【由美】 彼のことをいつ好きになったのか？

【由美】 何回セックスしたのか？

【由美】 どんなプレイをしたのか？

【由美】 キスは？中出しは？

【由美】 子供はできているのか？

【由美】 全部話すとなると長くなりそうだが、

【由美】 すまない、もう彼の子供を孕んでしまった♡

【 恵 】 私はまだなのになんていって♡

【 恵 】 由美は私の大親友だから、許してあげる♪ だけど、二人目は私が先なんだからね。

【由美】 わかった、わかった。

【由美】 …まあ、その…なんだ。

【由美】 初めて彼と寝たときから、避妊具はつけていない。

【由美】 その方が気持ちがいいからな。

【由美】 知っているか？ 私が一番気持ちよくなる場所は、子宮の入り口あたりなんだ。

【 恵 】 由美って背が高いでしょ？ 子宮口も少し深い位置にあるらしいの。

【由美】 生のデカチンでグリグリとえぐられると、腰が何度も震え、イクのが止まらなくなるんだ。

【 恵 】 彼のおちんぽは、そんな由美でも一発なの。

【由美】 君にはできないことだろう？

【由美】 今では、彼よりも小さいおちんぽを、生で受け入れることがなくて本当に良かったと思っている。

【由美】 ちっさくて、ありがとう♡

【 恵 】 うわ～、泣きそうになりながら、勃起すぎ～♪

【 恵 】 出したいんでしょう？ 出したいに決まってるよね？

【 恵 】 手伝ってあげる♪ どうせ君みたいなのは耳を舐めるだけでも興奮するって知ってるんだから♪

A

【 恵 】 ん～れるう、れるれる、れるれちゅ、れちゅっ…ん…れじゅっ、じゅる…じゅっ、れちゅっ、れるう～♡

【 恵 】 んあ～れろ、れろ、…ん…はあ……んちゅっ、ちゅっ、れろお…れろお…ん…れる、れるお～～♡

【 恵 】 んれろお～～～、ふう…、れる、れる…はあ……れるれるれるれるれるれる……んっあっ……れるれろお……んあ……れちゅれちゅれちゅうううっ～♡

【 恵 】 ん…ふう…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…はあ…むっ…れちゅれちゅれちゅれちゅ…はあ…はあ…むっちゅっ…れろれろれろれろお……♡

【恵】 あ〜むっ、あむあむ、ん〜ちゅっ、ちゅっ、ちゅぱっ…はあ…ちゆるっ、ちゆる、ちゆるる〜♡

【恵】んあ……ちゅちゅちゅ…ちゅちゅっ……んっ…はあ…♡はあ…♡…ちゅっ、ちゅ
っ、ちゅるちゅる…ん～～ちゅっ♡

【恵】んはあ〜♡んっちゅ…ぐちゅぐちゅぐちゅ…ちゅろ…ちゅろ…ちゅちゅちゅっ…

ああ……♡

【恵】んっ……ちゅ～っぱっ♡…ちゅ～っぱっ♡…はぁー…はぁー……んっ…ちゅっちゅっ…じゅるろろろろろっ、じゅるろろろろっ…ああ……んちゅっ♡

【恵】んあああ……じゅろお…じゅろお……んあ……ぐちゅ、ぐちゅ、ぐちゅ、ぐちゅ、
ずぞおおおお……ずぞおおおおお…♡

【恵】ん…あああ……ぐりゅぐりゅぐりゅぐりゅ……ぐりゅぐりゅぐりゅぐりゅ……ぐ
 おおおお……ぐおおおおおおお……♡

【恵】 ああ……ぐろろろおおおおおお……ぐろろろおおおおおお……んはあ……
ぐろろろろろおおおお……ぐるろろろろおおおお……♡

【恵】 ああ……んぐじゅぐじゅぐじゅぐじゅぐじゅ…はあー…はあー……ンッ…ぐじゅ
ぐじゅぐじゅぐじゅぐじゅぐじゅ……ぐじゅぐじゅぐりゅぐろろろろろおおおおお…♡

B

【由美】恵のやつ、調子に乗って……。

【由美】耳舐めなんかに負けないで、よく私の話を聞いてくれ。

【由美】 あぁ…思い出すと彼を好きになったのは、君に初めて寝取らせ報告をした日だった。

【由美】 初めての、性欲に任せたセックス。

【由美】 君にはないテクニックと、強いおちんぼに負けてしまったんだ。

【由美】 あの敗北は、ただ気持ちよかった。

【由美】 私が女であっても、この身長だ。

【由美】 皆が、避けていた。

【由美】 だが、彼は違う。

【由美】 もちろん、私よりも背が高い。

【由美】 力強く、上から抱きしめられた。持ち上げられた。

【由美】 抱えられたままの体位で犯された。

【由美】 あぁ……♡ 思い出すだけで、濡れてくる……♡

【由美】 はぁ…♡はぁ…♡

【由美】 最初はなんとか我慢していたんだ。

【由美】 だが、彼の送ってくる恵とのセックス自慢。

【由美】 勃起したおちんぼの画像。

【由美】 子宮がキュンキュンした。

【由美】 どうして、私は見ているだけなのか、疑問は増すばかりで。

【由美】 いつしか、呼び出されるなら仕方ないと、会いに行った。

【由美】 密会を重ねる度に、染まっていったよ。

【由美】 服の趣味が変わり、香水を彼好みのものにして、煙草も吸い始めた。

【由美】 嫌では全然なかった。

【由美】彼が私を見ている。セックスで大事に扱われている。

【由美】そう感じる事ができた。

【由美】以前白のロングワンピースを、買いに出かけたときがあったらう？

【由美】あの日も、彼に煙草を渡すために呼び出されていたんだ。

【由美】君との幸せなデートの時間の裏で、こっそり彼とあっていた。

【由美】彼をフェラチオで抜いてさえいた。

【由美】彼の精液を飲み込んだばかりの口で、君と会話してたんんだ。

【由美】ああ……♡

【由美】あの時はすごくドキドキした…♡

【由美】ん？ ワンピースは彼とのセックスで汚れたからな。

【由美】家で雑巾になっているよ。

【由美】ん？ 自慢気に着ていたら、彼が嫉妬してくれてね。

【由美】精液まみれになってしまったんだ。

【由美】ふふっ、君に選んでもらったもので残っている服は……ふふっ♪

【 恵 】 ねえ、話終わった～？ 一応まだ（・・）彼氏なんだし、してあげたら？

【由美】そうだな。耳、舐めるぞ。

【由美】ああ……これも彼に教わったんだ。

【 恵 】 由美って、彼にハマってから、性欲やばかったんだよ～。

【 恵 】 私が彼とする日だっていうのに、彼好みのバニーコス着ちゃってさ。

【由美】んあ……れろれろれろれろ…れちゅっ…ん…れじゅっ、じゅる、じゅる、じゅる

…じゅっ、んあ……れちゅれちゅれちゅうううっ～♡

【由美】あれは恵が、意地悪するから…。

【由美】彼とのイチャラブハメ撮り動画を、一週間毎日送ってきたんだ。

【恵】んあ……ちゅちゅちゅ…ちゅちゅうっ……はあ……れちゅ…れるれるれるれる
れるれろお……♡

【恵】あのときの顔、マジで発情しきったメスって感じだったもん。

【由美】んあああ……じゅろお…じゅろお……んあ……ぐちゅ、ぐちゅ、じゅろお……じ
ゅろおおおおお…♡

【由美】生理も重なってて、どうしても無理だったんだ。

【由美】気がついたら、通販でいろいろなコスプレ衣装を頼んでいたよ。

【恵】あ〜むっ、ん〜ちゅっ、ちゅっ、ちゅぽっ…はあ…ちゅるっ、れちゅ…れちゅれ
ちゅ…れちゅるるる…ああ…ちゅっ、ちゅっ♡

【恵】そうそう♪ 彼氏くんは、見たことある？ って、ないよね〜。

【恵】バニーコスとか、由美のスタイルってめっちゃいいから。すごいエロくてね。

【由美】ん…れろお〜〜〜、ふう…、れる、れる…はあ……れるれるれるれるれるれる…
…はあ…はあ…んっちゅっ…れろれろお、れろれろお……♡

【由美】あの時は、胸が大きいことに感謝したよ。こぼれ落ちるくらいのそれに、彼の視線を独り占めできた。

【 恵 】 んっちゅ…じゅっ、じゅっ、じゅろおお…ちゅうううっっ…ちゅっ…ちゅちゅちゅっ……はあー…はあー……♡

【 恵 】 悔しかったな～。私のこと無視して、由美とパコパコ始めちゃったもん。

【由美】 んああ……れろれろれろれろれろ…ああ……れろれろ、れろれろれろおお♡

【由美】 だけど、恵も混ざってきて3P（ピー）になったんだ。

【由美】 君は……耳だが……彼にはおちんぼご奉仕だ。

【 恵 】 ああ……れちゅ……れちゅ……ちゅうううっ……はあー……じゅる……ああ…じゅる……じゅっ、んあ…れちゅっ♡

【 恵 】 2人で左右から、亀頭の部分と竿の部分。交代でペロペロしちゃったね。

【 恵 】 あれから、3人でやること増えたね～。

【由美】 んあ～れろれろ……ん……はあああ…んちゅっ、ちゅっ……れろお…れろお…ああ…れる、れる、れる、れるおお～～♡

【由美】 大きければ良い訳ではないが、あのたくましいおちんぼを見ているだけで、愛液が止まらなくなるんだ。

【 恵 】 んっ…じゅろお…じゅろお……んあ……じゅろお…じゅろお……ああ……じゅろっ、じゅろっ……ずぞおおおお♡

【 恵 】 大好きな雄の前では、腰振りながら媚び媚びのあま〜い声で、おまんこに入れて
くださ〜いっておねだりするの。

【由美】 んはあ〜〜れちゅ……れちゅっ……んあ……ずじゅっ……ずじゅっ……じゅるじ
ゅる……じゅるじゅる…んじゅじゅっ♡

【由美】 丸くて可愛いウサギの尻尾を振りながら、H カップの胸を揺らして、下品に誘う
んだ。

【 恵 】 あ……ちゅちゅちゅ…ちゅちゅっ…ちゅっ…ちゅろ…ちゅちゅちゅううっ♡

【由美】 あああ……おちんぼ、おちんぼおちんぼおおお……♡

【由美】 乳デカ兎のお……とろとろおまんこにい……いれてくださあ〜い♡
とな。

【 恵 】 由美の今のおねだり……嘘なんだよ♪

【 恵 】 本当（ほんと）はもっともおっと下品でえ、媚びてるの。

【由美】 すまない、全てを話すといったのに、君にまだ遠慮があったみたいだ。

【由美】 淫乱な雌兎にい〜、おちんぼ突っ込んで、パンパン、パンパン、奥まで突いてえ
♡

【由美】 赤ちゃん孕みたいのお♡ ねえ♡ 孕ませてよお♡

【由美】 子宮の深くまで、つっよい雄の精液で満たしてえ♡

【由美】 ああああ……きたっ♡ きたっ♡ おちんぼきたああっ♡

【由美】 出してえ♡ 出してえ♡ いいのお♡ おおおくるっ♡くるっ♡

【由美】入っただけなのにアクメきちゃうのぉ♡

【由美】おぉおぉ、やっべえ、やべやべやべ♡

【由美】おぉお……♡ おぉお……♡

【由美】おぉ、おぉ、おっ、ヤッベ♡

【由美】おっおっおぉマジ…おっおっコレマジで…♡

【由美】おぉおぉおぉ…おぉ……おちんぽ最高おぉお……♡おちんぽ最高おぉお……♡

【由美】おぉおぉ…おっおっおっ、おぉおぉおぉ…イクイクイクっ…イグっ…おっ…イグっ…♡

【由美】ゝ おゝ おぉおぉおっいつぐうううううううう———ッッッ♡♡♡

【由美】ん……………。

【由美】これが、交尾したい雄に聞かせる声だ。

【由美】ん？ ……射精は……………そうか……。

【由美】どうだ？本当の私を知って幻滅したか？

【 恵 】君の知ってる真面目で、可愛いものが大好きな由美はいないの。

【由美】寝取らせプレイで本気になって、親友の彼氏と寝てしまう女なんだ。

【 恵 】えっろぉ～い、セックスしかできないようなコスプレして、煙草をねだられたら
仕事中でも渡しに行ったり、どんどん彼に染まっていくの。

【由美】本当はここ数週間、君のことなど頭になかった。

【 恵 】そうそう♪ 君の誕生日も忘れてたからね。

【由美】連絡が来る度に、返信する時間は彼とのセックスに使っていた。

【 恵 】ほとんどスタンプ一つだけだったでしょ？

【由美】君が、大好きだった私は……もう、いないんだ。

【由美】それでも、私のことを好きでいられるか？

【由美】心が変わらないと言うなら、最後の約束だ。

【 恵 】はい、これ。

【由美】この DVD にはある動画が入っている。

【由美】だが、一生見ないで欲しい。

【 恵 】中身はヒ・ミ・ツ♪ ぜ～ったい見たらダメだよ。

【由美】……今日は付き合ってくれてありがとう。

【由美】君とまたデートできる日を楽しみにしている。

【 恵 】ふふっ、じゃ～ね～♪

【由美】また会おう。

06b_【おまけ】絶対、見てはいけないビデオ (22_41)

ああ……これを見てしまったんだな……。

君が期待している（・・・・・・・・）ような動画は入っていない。

約束を破らないと信じていたんだが……。

違ったようだな。

やはり、別れよう。

それがお互いのためだと思う。

……だが…もし、私のことを見るだけ（・・・・）でいいのなら、ハメ撮りを送るがどうする？

…もちろん対価はもらう。

1回10万円はどうだ？

ふふふっ♪ 彼が教えてくれたんだ。

この方が、君みたいな寝取られマゾは喜ぶのだろう？

必要な時は連絡を……っ、

あっ——んんっ——ひゃんっ♡

い、いきなり何をするっ……あっ……やっ……まだっ、メッセージとってるのにな♡